

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来 60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015年8月27日

組織名 【 山形市立病院済生館職員労働組合 】

施設名 【 山形市立病院済生館 】

職場・所属 【 第20回執行委員会 】 17名

【賛同者の名前やメッセージなど】 白衣を二度と戦争の血で汚さない！
戦後70年にしてこのような戦争法案は絶対に許せません。

薬局・延川正雄、臨床検査室・大江雅宏、中央放射線室・設楽真紀、
救急室・海谷精一、リハビリ室・加藤直也、手術室・長岡光輝、2階外来・水戸直美
5東・小本昌梓、6東・小澤美貴、9東・矢作亜沙美、5西・伊藤綾香、6西・大石咲
人工透析室・竹高忍、8西・渡辺祥子、9西・伊藤雅也、10西・荒井郁
救急室・加藤寛美



いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来 60 年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015年8月27日

組織名 【 山形市立病院済生館職員労働組合 】

施設名 【 山形市立病院済生館 】

職場・所属 【 第5回委員会 】 32名

【賛同者の名前やメッセージなど】

日本が戦争に加担する事で
絶対に許しません！断固反対です、

